

CLA-2000による避雷器点検方法

適応機種

NRR-24MZ

●端子配列と結線図

本体部

ピン側よりの図

テストピン又はクリップにておこなってください

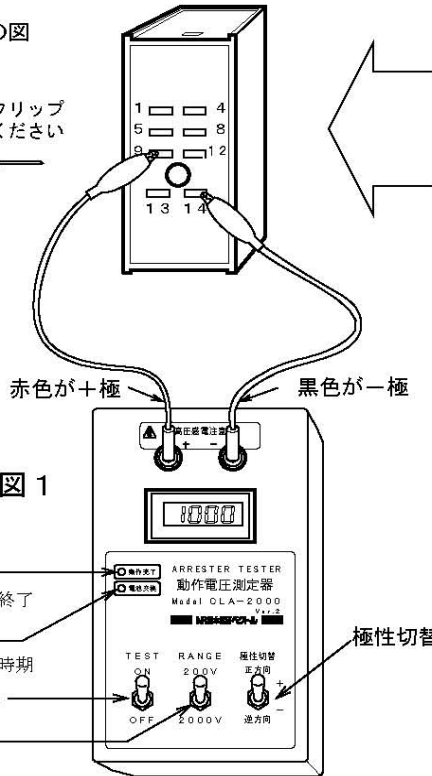
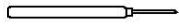


図 1

動作完了表示

緑色点灯：計測終了

電池交換表示

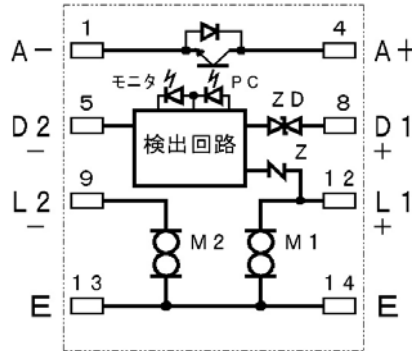
赤色点灯：交換時期

テストスイッチ

レンジ切替

極性切替

●本体内部の回路図



ZD: シリコン式素子

Z: 酸化亜鉛式素子

M: モリブデン式素子

PC: フォトカプラ

チェッカーの動作について

- ・チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
- ・1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
- ・TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

注意事項

- ① 感電にご注意ください。
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② エレメント部単独で行ってください。
固定用ネジを緩めてソケットより外してください。
- ③ 電池交換
電池交換ランプが点灯すれば新品と交換してください。
本器を長期使用しない場合、電池は外して保管してください。

●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えてください。
- ② 極性切替スイッチは正方向を定位置にしてください。
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続してください。
- ④ TESTスイッチをONに投入してください。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。*1
範囲外であっても信号に支障がなければ、新品の交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。

<2線式信号伝送用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/-極	印加電圧 (レンジ)	極性切替	確認内容 下記の範囲であること	備考
接地間 M1	L1/E	12/14	2000V	正方向	350-850Vの範囲であること	—
接地間 M2	L2/E	9/14	2000V	正方向	350-850Vの範囲であること	—
線間 Z	L1/D2	12/5	200V	正方向	46-56Vの範囲であること	点灯確認可能
線間 ZD	D1/D2	8/5	200V	正方向	34-47Vの範囲であること	点灯確認可能
線間 ZD	D2/D1	5/8	200V	逆方向	30-44Vの範囲であること	点灯確認不可

線間のモニタランプ点灯は正方向で電圧印加で動作電圧オーバー時のみ確認できます。
通報出力機能の動作確認はできません。